

証券コード：3940

Nomura
System
Corporation

Nomura Press

株式会社ノムラシステムコーポレーション

2017年12月期 事業報告書 vol.2

(2017年1月1日～2017年12月31日)



TOP INTERVIEW

トップインタビュー

株主価値をさらに高め 次なる成長を目指します

2017年12月期の業績と、ノムラシステムの
強みと今後の成長戦略について
野村社長に伺いました。



Q1 2017年12月期を振り返っていかがでしょうか

企業のIT投資は引き続き増加傾向にあり、ERP市場でも、IT基盤の統合や再構築が企業の重要課題とされ、マーケットは堅調な成長を続けております。

こうした環境の中で当社は、最先端テクノロジーに深い知見を持つコンサルタントによる課題解決策の提案と、情報システムの構築に取り組んでおり、当期は、SAP ERPパッケージ導入のプライム(元請け案件)をより多く受注すべく、当社の強みである人事ソリューションを中心に営業活動を推進いたしました。また、FIS※の営業も積極的に行うことで受注の安定に努め、顧客基盤の拡大を図ってまいりました。

この結果、当期の業績は、売上高につき、各案件の順調な進捗と案件規模の拡大が寄与し2,534百万円

となり、前期比3.8%の増収を達成いたしました。

利益面においては、利益率の高い準プライム案件の増加により、売上総利益が伸長し、営業利益は前期比30.3%増の407百万円、経常利益は同29.9%増の405百万円、当期純利益は同53.7%増の299百万円となり、各段階利益で前期を大きく上回る成果を残すことができました。

また、当社が重要経営指標として重視する経常利益率についても、16.0%と目標値を上回る結果となりました。

(※)FIS(Function implement Service):

SAP導入プロジェクトにおいて業務設計、システム設計から顧客要件を分析し、SAPの実現機能の設計やアドオン(作り込み)設計の技術支援を行う。

営業利益

407百万円

(前期比30.3%増) ↑

経常利益

405百万円

(前期比29.9%増) ↑

当期純利益

299百万円

(前期比53.7%増) ↑

Q2 ノムラシステムの強みと今後の成長戦略について教えてください

当社は、ドイツ企業では時価総額No.1(2017年時点)のSAP社が開発した、世界トップシェアを誇る製品でコンサルティングを行い、クライアント企業が抱える経営課題を解決するために「解決策の提案」から、解決策を実現する「仕組みづくり」までを一貫して行います。

当社の強みは、SAP社製品に特化してコンサルティングを行ってきたことから、SAP社製品の仕組みに精通しており、「べき論」ではなく実現可能性および付加価値の高い提案と提案内容を実現させる技術力になります。これらの強みを背景に精度の高い工数見積りが行われ、プロジェクト成功率は100%となっています。クライアント企業様にご満足いただいた結果、案件規模は拡大傾向にあります。

当社のメインサービスとなる国内ERP市場は、年間成長率が6.1%と今後も堅調な見通しであり、2018年には市場規模は1,225億円に達すると予測されています。また、現行SAP ERPから次世代ERPであるSAP S/4HANAへの切替需要が当社にとって追い風になると考えます。中

長期的には、SAP S/4HANAと「クラウド」「IoT」「AI」「ビッグデータ」をいかに組み合わせ、競争優位性を構築するかが重要になってくると考えます。

こうした事業環境を背景に、SAP S/4HANAの導入コンサルティングに加え、ビッグデータ分析を含むクラウドを活用したコンサルティングサービスをより積極的に展開することで飛躍的な成長を目指します。

ノムラシステム3つの強み



SAP S/4HANAと「クラウド」「IoT」「AI」「ビッグデータ」の組み合わせによる競争優位性の構築支援に向け、積極展開

ERP導入コンサルティングに加え、経営分析(ビッグデータ分析)、クラウドを活用したコンサルティング実績をもつ
当社が大きく成長する7年

SAP HANAを土台にSAP S/4HANAと「クラウド」「IoT」「AI」「ビッグデータ」の組み合わせによる競争優位の確立が必須に

2018年

2025年

SAP HANAへの切替完了
(想定される切替時期)

Q3 株主様へのメッセージをお願いいたします

最良のソリューションを提供しクライアント企業が抱える経営課題の解決を支援するため、今後もコンサルティングサービスの領域の拡大に取り組み、持続的な企業価値向上に努めることで、株主の皆様のご期待に応えていく所存です。

また、信頼性や知名度を高めるプロセスとして、市場

第一部へのステップアップを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





ノムラシステムコーポレーションの新製品

SAP S/4HANAテンプレート NIMES



当社は、次世代ERP「SAP S/4 HANA」のテンプレート新製品「NIMES」をリリースしました。「NIMES」は、クライアント企業に「短期間」「高品質」「低リスク」での業務改革・システム導入を可能にします。

SAP S/4HANAのテンプレートである新製品「NIMES」のルーツは、ノムラシステムコーポレーションが自社の基幹業務システムとして導入したSAP S/4HANAをベースとしたシステムです。

日本企業が「短期間」「高品質」「低リスク」でSAP S/4HANA導入をするため、当社導入のSAP S/4HANAの汎用性を高めたもので、当社のコンサルティングノウハウが結集しています。

NIMESは、経営分析、購買管理、在庫管理、財務・管理会計を基本とした、業種を問わず必要となる機能を保持しています。

特定業務を対象にしたシステム導入はもちろん、クライアント企業の基幹業務と基幹システムを同時に、そして、一斉に改革することも可能です。



東京証券取引所市場第二部への 市場変更のお知らせ

2018年3月1日をもって、JASDAQ（スタンダード）から東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとした多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。当社は、今回の市場変更を機に更なる事業の発展を目指します。

今後も皆様のご期待にお応えできるよう、更なるコンサルティング領域の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



売上高

25億34百万円

(前期比3.8%増) ↗

経常利益率

16.0%

(前期比29.9%増) ↗

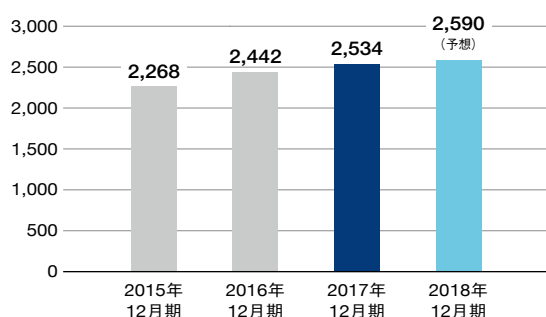
1. 前期を大きく上回る増収増益を達成し、売上高、利益ともに過去最高を更新

利益率の高いプライム案件を順調に獲得するとともに、案件規模の拡大により、前期比から大幅な増収増益を達成し、過去最高の収益となりました。

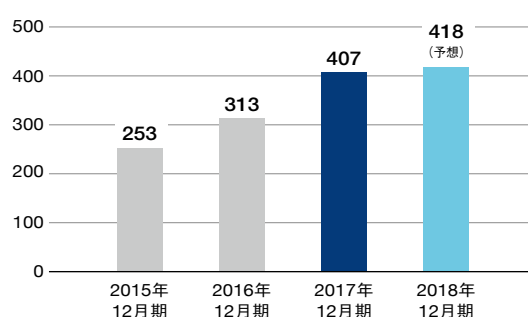
2. 次期は、収益性の高い案件の受注拡大により、増収増益を目指す

当社の強みである人事分野のプライムに加え、会計分野等他分野の顧客開拓を進め、2018年12月期の業績は、売上高25億90百万円、経常利益4億18百万円と増収増益を見込んでいます。また、クラウド、ビッグデータの分析等の新規サービスも提供し、継続的な案件の獲得を目指します。

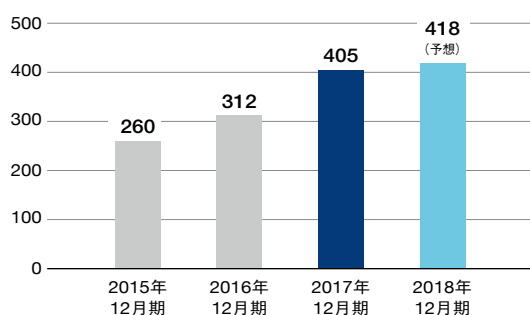
売上高 (百万円)



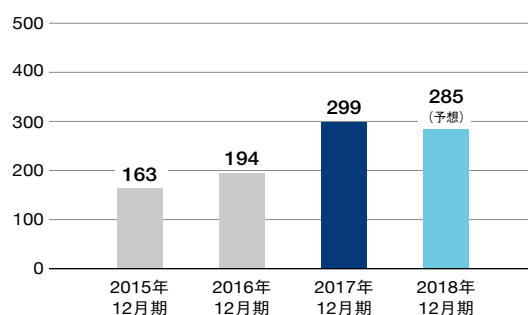
営業利益 (百万円)



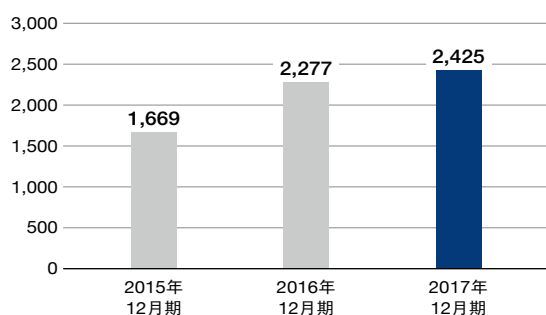
経常利益 (百万円)



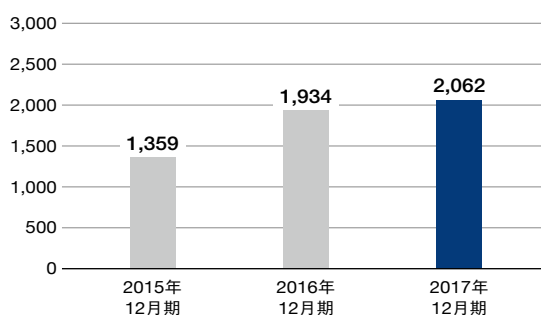
当期純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



株主還元

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置づけております。財務基盤の健全性を維持し、事業環境の変化や将来の事業展開に備えて内部留保の充実を図りつつ、配当性向40%以上の安定配当を継続的に行うことを基本方針といたします。

2017年12月期 配当金 (1株)

22.0円

第33回 定時株主総会決議ご通知

証券コード:3940 株式会社ノムラシステムコーポレーション
代表取締役 野村 芳光

第33回 定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されました。

開催日時	平成30年3月27日(火曜日)午前10時
内容	報告事項 第33期(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)事業報告及び計算書類の内容報告の件
	決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件
	第2号議案 定款一部変更の件
	第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件

(2017年12月31日 現在)

会社概要

会社名	株式会社ノムラシステムコーポレーション
本社所在地	東京都渋谷区恵比寿1丁目3番1号 朝日生命恵比寿ビル7F
資本金	29,936万円
従業員数	101名
役員	代表取締役 野村 芳光 (ノムラ ヨシミツ)
(2018年3月27日 現在)	常務取締役 根本 康夫 (ネモト ヤスオ)
	常務取締役 有賀 滋 (アリガ シゲル)
	取締役 吉田 勤 (ヨシダ ツトム)
	取締役 内山 勉 (ウチヤマ ツトム)
	社外取締役 太田 健一 (オオタ ケンイチ)
	社外取締役 常勤監査等委員 富谷 正明 (トミヤ マサアキ)
	取締役 監査等委員 古藤 全海 (コドウ ゼンカイ)
	社外取締役 監査等委員 田部井 修 (タベイ オサム)

株式情報

発行可能株式総数	17,190,000株
発行済株式総数	5,629,800株
株主数	2,437名

大株主

氏名または名称	所有株式数	持株比率
野村芳光	3,652,500株	64.9%
大山亨	103,500株	1.8%
株式会社SBI証券	59,100株	1.1%

株主メモ

証券コード	3940
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部*
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度の末日の翌日から3ヶ月以内
基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
および	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話:0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL:	https://www.nomura-system.co.jp/

※2018年3月1日をもって、東京証券取引所市場第二部に市場変更いたしました。



当社をよりよくご理解いただくために、「個人投資家の皆様へ」のページを設けています。



当社の事業内容や今後の見通しなど、情報をわかりやすくご紹介しています。ぜひご活用ください。



<https://www.nomura-system.co.jp/ir/individual/>